

儀礼文化学会

石田 武久

74 期文・77 期博前文・81 期博後史



現在、あらゆる面で情報化・高齢化が進み、それともなって生涯学習が重視されるようになってきている。博物館はその生涯学習推進の拠点として、人々の学習意欲の高まりに応える活動が求められている。そうした博物館の活動に対応し得る専門職である学芸員の養成は社会的要望である筈である。

学芸員の養成は、生涯学習社会が進展するなかで、学芸員の業務を的確に遂行できるように、博物館に関する基礎的な知識に加え、資料の収集・保管、調査研究、展示・教育、博物館における教育普及活動、博物館情報とその活用、博物館経営などに関する知識や技術の習得を図るものとなっている。それは生涯学習社会における人々の多様な学習意欲と願望を把握し、学習活動を効果的に援助する有能な社会教育指導者として活躍できる学芸員を養成することである。

現在、学芸員を養成し、資格を付与する大学は急増しているが、國學院大學は学芸員養成機関としての歴史は古く、かつその内容は充実している。

私は故加藤有次先生に指導を受けてきた。加藤有次先生が強く求めてきた博物館とは何であろうか。このことをいつも頭におきながら講義をして行きたいと思う。